

搾乳もあるよっ！
妖夢と潮吹き！
③
巨乳妖夢搾潮編

できてきたてです...♡
どうぞ...♡

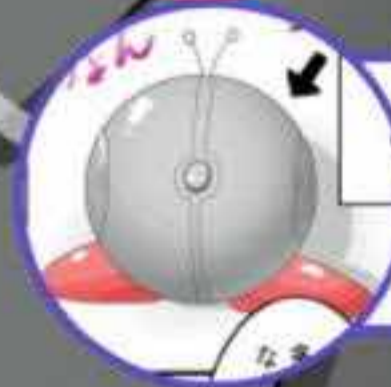
DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止

登場人物



魂魄 妖夢

本作の主人公。にとりとえーりんに協力してエッチな体液を集めるバイトをする。今回は搾乳用お薬で巨乳になったぞ！



きゅーむ君

にとりが作った喋る搾乳・搾精・搾潮ロボット。イッたことのない女の子も見事にイカせてくれるぞ！

八意の薬を飲み続けて半年。今日はいいよいよ搾乳予定日。薬を飲む前は手で包める程度の大きさだった妖夢の胸は、日増しに大きくなり、乳輪が母乳でぱんぱんになるぐらい大きくなっていた。

「きゅーむ君 どうかな？」
「……超音波による解析が完了。母乳蓄積量……十分と判断。搾乳を開始しますか？」
「よかった。お願いするね」

「それでは まずは母乳がしっかりと出るように
乳腺マッサージを開始します」
ウイイイイイン…という音を立てて、きゅーむ君から
4本のアームが伸び
妖夢のおっぱいを支えながら、乳輪部分から
乳頭へと優しくリズムミカルに指が動く。

「えっ？！すぐ搾るんじゃないの？んっ♡」
優し…的確なマッサージに妖夢の声が漏れる。

「んっ♡あうっ♡ あっ♡♡んああっ♡」

次第に乳首全体が熱くなり、ジンジンとむず痒い
快感を訴え始める。
敏感になった乳首に合わせて
マッサージの強さが加減され、適度な快楽が
身体に、下腹部に、そして脳内に蓄積されていく。
ぴゅるっ！両胸から白い液体が勢いよく飛んだ瞬間
ダラダラと濃く白い乳液が溢れ始める。

「ピピピ…… 下腹部に強い疼きと
大量の愛液の流出を確認。
潮吹きによる潮の搾取が可能と判断
搾乳と同時進行……問題なし 開始します」

「えっ……あッ♡ひゃうんっ！」

抵抗する間もなくアームにぐいと
引っ張られ、柔らかくて丸いお尻が
突き出される。

お気に入り黒い下着にはすでにヌメヌメとした
大量の愛液が外側にまで染み出してきている。

「んっ♡ソコ……♡は……♡んっ♡」

急な予定変更戸惑った妖夢だが
先ほどの焦らすような乳腺マッサージによって
あちこちがむず痒い性の疼きを訴え
我慢の限界を迎えていた。
キュッと閉じていた足の力を抜き、全身を
きゅーむ君に委ねる。

妖夢の中には快感に紛れて、いつの間にか強い尿意が溢れていた。更に強い尿意を我慢すればするほど、快感と尿意がこみ上げてきて絶頂に達しそうになる。その体内には、すでに大量の潮と母乳が発射の時を待っていた。

「はーっ♡はーっ♡♡んッ♡♡」

「心拍数140台まで急上昇 絶頂直前の強力な感度上昇 筋肉の締め付け 精神興奮を確認 高原期に突入と判断 強制絶頂モードへシフトします」

ぐいっと妖夢の身体が起こされ、ポウルと搾乳機が充てがわれる。絶頂直前の妖夢の表情は、緊張の苦しみの中に絶頂への切望が混じり合った笑顔になっていた。

「ふー♡っはあ♡は~~~~♡」

敏感になった性感帯を、潮が、母乳が、
激しい勢いで通過する度に、
気が遠くなるような快感が彼女を支配していく。

ピクン♡♡ピクン♡♡ピクン♡♡ピクン♡♡びゅー♡
「だめえ……♡頭おかしくなっちゃう♡」

びゅー♡♡♡びゅー♡♡♡びゅー♡♡♡びゅー♡♡♡

イッた後も、潮と母乳の噴出は続き
採取ボウルの中をどんどん満たしていく。

（きもちいい♡♡きもちいい♡♡）

理性が吹き飛んだ彼女の身体には
すでに新しい潮が溜まり始めていた……♡















20min
min



REC

TCG 00:0



TD

n

to

S

CH1
CH2





サークル
ようむのしお
Youmu-no-shio



発行日：2018年5月6日博麗神社例大祭 初版
2018年5月26日改定 第二版

発行：柊アザト（サークル：ようむのしお）

原作：東方Project（上海アリス幻楽団様）

印刷：コンビニ印刷

連絡先・SNS：pixiv（1547522）ツイッター（shoichi845）

Gメール（shoichi845@gmail.com）

※18歳未満の購入、閲覧の禁止。また、無断転載、複製、アップロード等の禁止。